

# 道徳授業づくりの4つのSTEP

## STEP 1 : 価値観の解釈をする たとえば・・・C-規則の尊重 であれば、

C 主として集団や社会との関わりに関すること  
12 規則の尊重

[第1学年及び第2学年]  
約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。

### (2) 指導の要点

#### ■ 第1学年及び第2学年

この段階においては、まだ自己中心性が強く、ともすると周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることも少なくない。また、身の回りの公共物や公共の場所の使い方や過ごし方についてどうするのがよいのか、そしてそれはなぜなのかといった理解は十分とは言えない。

指導に当たっては、身近な約束やきまりを取り上げ、それらはみんなが気持ちよく安心して過ごすためにあることを理解し、しっかりと守ろうとする意欲や態度を育てることが大切である。また、みんなで使う場所や物を進んで大切に、工夫して使いたいという判断力や態度を身に付けられるように指導することが必要である。

【価値観】  
約束やきまりごとはなぜあるのかを理解し、守ろうとする態度を育てたい。

※ここで大事な  
のは、児童生徒  
の実態を考えな  
がら、大切にしたいことを明らかに  
するというこ  
です。

## STEP 2 : 児童生徒に考えさせたいことを明確にする

【価値観】  
約束やきまりごとはなぜあるのかを理解し、守ろうとする態度を育てたい

【考えさせたいこと】  
「きまりはみんなが気持ちよく  
ごすために大切だから、守らな  
ければいけない」ということ

## STEP 3 : 教材を読む



おすすめは、子どもたちが使っている、何も書かれていない教科書です。  
何にもとらわれずに読むことができます。

## STEP 4 : 中心発問を考える



例えば・・・  
○気持ちがゆらぐところ  
○気持ちが変わるところ  
○前と後とで心情や態度が  
変化したところ

## ～実践例～ (中野小2年生)

STEP1:価値観 内容項目:C-規則の尊重

「約束やきまりことはなぜあるのかを理解し、守ろうとする意欲を高めたい」

STEP2:考えさせたいこと

「きまりは、**みんなが気持ちよくすごす**ために大切だから、守らなければいけない」

STEP3:教材を読む

### 《教材について》

きまりをやぶって怒られたあきらが、きまりのない学校の夢を見る。夢では、きまりがないために、自分が作ったものを壊されても、みんな知らんぷりで自分勝手なことをしている。夢から覚めたあきは、「ああ、よかった。」と夢だったことを喜んで終わる。



STEP4:中心発問を考える

**中心発問** → あきらは、どんな気持ちで「ああ、よかった。」と言ったのでしょうか。

さらに・・・**授業の最初と最後にテーマ発問**  
「きまりは、このあとに続くことばを考える。」

**授業後**

きまりは みんなのためにある。  
い(でも)どこでも守る。  
みんなが守る。

**授業前**

きまりは 守る  
わすれない。  
子どもでも守る。  
たいせつ。  
たいじ。

きまりは 守る

中心発問

交流